

14 番（小川義昭議員）

それでは、最後の質問であります。

加賀海浜産業道路の取付道路と周辺の道路整備計画についてお伺いします。

現在、石川県は、加賀地域と金沢港とを結ぶ海側の新たな南北幹線道路として、加賀海浜産業道路を整備中であります。この道路整備の目的と効果は、物流機能の強化や地域間交流の強化、さらには朝夕の通勤・通学時などにおいての主要地方道金沢美川小松線の美川大橋付近や松本交差点付近などで発生している渋滞状態を緩和することにあります。

去る3月19日の新聞報道によりますと、県は、今年度に加賀海浜産業道路の手取川架橋で左岸側の上部工の架設に着手するとし、令和5年春には、能美市側から川北町橋までの一部区間の完成を目指すとのことあります。

本市では、県のこの道路整備計画に合わせて、湊地区の利便性向上などを図るために、直接、加賀海浜産業道路に乗り入れることができるように、取付道路の整備を進めており、今6月会議の補正予算案には用地取得費などで約1,500万円が計上されております。

現地を確認いたしますと、その取付道路付近には、県営手取公園湊スポーツ園地の野球場やサッカー場があり、また、その隣には石川県水産総合センターが立地しています。加賀海浜産業道路が開通した際には、これらの施設への乗り入れに乗用車やマイクロバス、大型バスの利用、さらには湊地区からの利便性などを想定しますと、取付道路にアクセスする市道の道路改良なども必要かと思われます。周辺の道路整備計画について、どのように考えておられるのかお伺いいたします。